

神戸市のデータ分析に関する取組が
Data StaRt Awardで**総務大臣賞**を受賞

令和4年10月18日

企画調整局 政策課

Data StaRt Award

～第7回「地方公共団体における統計データ利活用表彰」～

1. 概要

地方公共団体における統計データの利活用を推進することを目的として、
統計を利活用して優れた取組を進める地方公共団体を表彰する制度

2. 主催：総務省

3. 入賞

- (1) 総務大臣賞
- (2) 統計局長賞
- (3) 特別賞



【過去の表彰式の様子】

データ・スタート アワード
Data StaRt Award
～第7回地方公共団体における統計データ利活用表彰～

総務省統計局は、統計データによる行政サービスの改善・施策の立案等、優れた取組を進める地方公共団体を表彰します。

全国に発信
国と地方で連携・協力しデータ利活用の取組を全国に発信します！

表彰
総務大臣賞や統計局長賞などを授与します。

事例紹介
取組事例をウェブサイト「Data StaRt」(データ・スタート)で大きく取り上げ紹介！

多様な取組
地方公共団体の規模に問わず、創意工夫した取組を積極的に奨励します。市町村の取組も積極的に表彰します。

データ利活用を推進する取組を **幅広く募集しています**

対象となる取組事例

- 各種統計調査や統計アンケート調査の分析結果を活用した行政サービスの立案（人口減少対策、雇用創出、防災・防災対策）
- 行政分野でデータの利活用を促進した取組（特定統計データやオープンデータの活用）
- 地理情報システム(GIS)を活用した取組
- 統計データを活用した取組
- 統計データを活用した取組
- 統計データを活用した取組
- 統計データを活用した取組

表彰までの流れ

※提出については統計局管理へご相談ください。

市町村・都道府県から
総務省へ推薦
7月下旬

審査
1次 2次 最終

受賞団体決定
統計の日
10月18日

表彰

お問い合わせ
総務省統計局 統計データ利活用センター
TEL 075-425-0205
E-mail data-tikatsuyou@soumu.go.jp
地方公共団体のためのデータ利活用支援サイト
Data StaRt
https://www.stat.go.jp/dstar/

e-Stat
日本の統計が閲覧できる国民統計ポータルサイト
統計データが活用できる、使いやすく検索しやすい。
https://www.e-stat.go.jp

Data StaRt Award

～第7回「地方公共団体における統計データ利活用表彰」～ 受賞団体及び取組

10月18日
総務省統計局
プレス予定

地方公共団体名	取組の件名
【総務大臣賞】 兵庫県神戸市	データ分析をDIY ～神戸データラウンジ～ 内部人材による行政データの利活用を推進する取組。行政データや公的統計データをBIツール等で分析、可視化し、ダッシュボード等を全庁で共有する仕組みを構築
【統計局長賞】 岐阜県関市	ビッグデータを使用した効果的な自治体データベースの作成と多事業展開 地域特性及び住民特性を様々な側面から把握し施策に結びつけるため、住民基本台帳を基に健康状態が把握できるデータを積み重ねて作成したデータベースを基にツールを作成・活用
【特別賞】 東京都港区	新型コロナウイルス感染症による港区在住者、訪問者、事業所の動向と都市機能への影響の実態に関する研究――多様なデータの活用による動態の最新動向へのアプローチ 行政記録データ、民間データ、公的統計、独自アンケートなどの地区別・メッシュ別の集計により、地域の産業特性・人口分布と関連付けたコロナ禍による影響を可視化し、区政が担うべき政策的含意を導き出す取組
【特別賞】 和歌山県	和歌山県における空き家分布の推定 空き家分布を高い精度で推定できる機械学習モデルを構築する取組。行政データと空き家調査結果とを用いた機械学習モデル及び空き家調査結果、国勢調査等のマイクロデータを用いた機械学習モデルを構築
【特別賞】 長崎県	長崎県移動理由アンケート調査事業 人口減少に対する効果的な施策の立案及び転入・転出施策の効果測定のため、県及び県下全21市町が一体となって転入・転出の理由等を逐次把握するアンケート(移動理由アンケート)を実施

【総務大臣賞】

10月18日
総務省統計局
プレス予定

兵庫県
神戸市

データ分析をDIY ～神戸データラウンジ～

- ✓ 蓄積した行政データから、職員向けのダッシュボードをBIツールを使用して作成。ダッシュボードの作成は、内製化により短時間で、柔軟に、コストをかけずに実現
- ✓ ダッシュボードの全庁共有で資料作成の時間を短縮。全庁的に各局が所有する行政データ利活用の機運を醸成、各レベルのデータ分析ができる人材の育成

問題及び課題

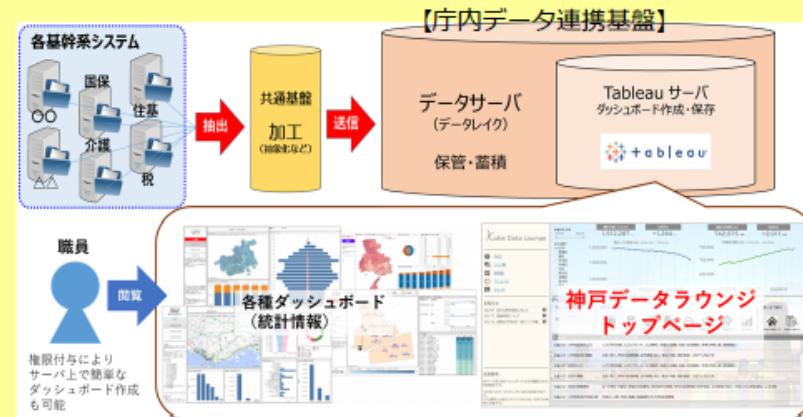
全庁的に、データに基づく政策形成、行政データの利活用が進んでいない



行政を取り巻く急激な外部環境の変化にスピード感を持って対応していくため、**内部人材による行政データの利活用が必要**

庁内データ連携基盤の構築、ダッシュボードの共有

- 基幹系システムから抽出・抽象加工した行政データや国勢調査等の統計データを庁内データ連携基盤において保管・蓄積、BIツール等で分析、可視化し、ダッシュボード等として全庁で共有
- 職員はポータルサイト「神戸データラウンジ」よりダッシュボードにアクセス
- ダッシュボードの作成は内製化しており、各局の要望・ニーズ等に基づき追加、各局でもダッシュボードを作成できるように人材育成
 - ⇒ダッシュボードの活用で**資料作成時間を短縮**
 - ⇒**行政データの利活用が浸透**、全庁的に**行政データ利活用の機運が高まる**とともに**各レベルのデータ分析ができる人材の育成**



データ分析をDIY

～神戸データラウンジ～

DIY : Do It Yourself

外部の専門家まかせにせず

職員自らやる！！

神戸市では、EBPMを推進するため、
行政データの利活用を進めています。

EBPM : Evidence Based Policy Making
エビデンスに基づく政策立案

国の行政データ利活用についての方針など

- 2016年12月：「官民データ活用推進基本法」成立・施行
- 2018年 6月：「地方公共団体におけるデータ利活用ガイドブック」策定
- 2019年 5月：「地方公共団体におけるデータ利活用ガイドブックver.2.0」公表

・「官民データ活用推進基本法」

→**地方公共団体における官民データ活用推進計画の策定や策定努力が義務化**されるなど、社会課題の解決を担う地方公共団体において、データ活用の取組・対応を進めることを求めている。

・「地方公共団体におけるデータ利活用ガイドブック」

→個人情報保護にも配慮しつつ、**地方公共団体が保有する多種多様なデータを部局・分野横断的に活用**して効果的な政策立案や住民サービスの向上等に取り組むことを求めている。

→ICT担当部署のみならず、子育て・介護・環境・防災・都市計画等様々な分野の担当職員を読者として想定し、データ活用にあたっての手順をわかりやすく整理されたガイドブックを策定した。

・「地方公共団体におけるデータ利活用ガイドブックver.2.0」

→地方公共団体が保有するデータの多くは、既存の行政サービスのために入手したもので、**他の目的に利用することを通常想定していないが、保有データを有効活用することで、行政サービスの生産性の大幅な向上や、住民サービスの質の向上**（例えば、住民ひとりひとりに合った情報や行政サービスの提供など）、**データや証憑などに基づく政策立案・評価（EBPM）**などを進めることが可能と記載

また、「官民データ活用推進基本法」を踏まえ、これからの行政経営において、**データの有効活用への取組は必要不可欠**と記載

→基幹系システムから抽象加工したデータをサーバに蓄積し、蓄積した行政データをBIツールなどにより可視化し、職員間で共有し、政策形成などに活用する姫路市や西宮市の取組が、地方自治体の行政データの利活用の先進事例として紹介されている。

EBPMに必要なエビデンスとは？

名谷駅周辺の5つの
小学校区に、
市外から転入してくる
就学前の子育て世帯は、
年間で何世帯いるのか？

西神住宅団地の
人口ピラミッドや
人口動態、世帯構成は
どのような傾向か？

最近東灘区に、外国人が
増えているが、国籍や年代、
在留資格はどのような属性が
多いのか？

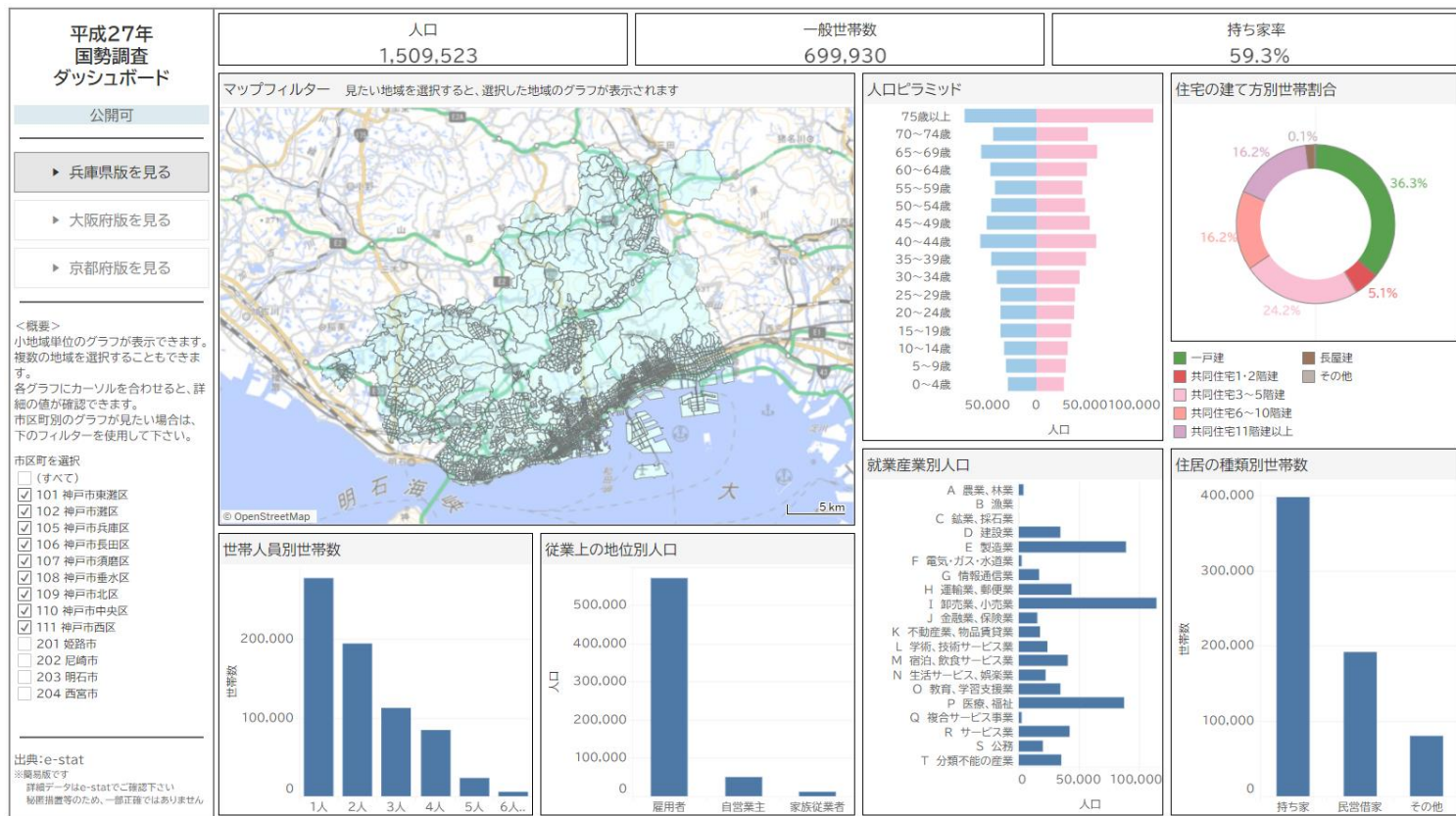
政策立案に必要なエビデンスは、
外部の専門家に聞くほどではないが、
すぐには分からないものが、意外と多い。

誰でも簡単に分析できればEBPMが進むのではないか。

BIツールを使ってダッシュボードをDIY

BI ツール : Business Intelligence ツールの略称で、データの可視化など意思決定のためのアプリケーションソフトウェア

ダッシュボード : 自動車の計器盤のように、複数のデータを可視化し一覧できる画面



統計やプログラミングのスペシャリストがいるわけではないけど・・・

直感的に操作しやすい
BIツールの特性を生かし、
多様な統計ダッシュボードを
DIYで大量生産

Tableauで作成した国勢調査のダッシュボード

神戸データラウンジ

- グループウェア（desknet's）上に、庁内共有用ダッシュボードのページにアクセスできるリンクを作成し職員であれば、誰でも容易に利用が可能（令和4年6月から運用開始）
- 現在、24種類、83ダッシュボードを実装

Kobe Data Lounge

対象年月の年
2010年 2022年

最新の推計人口(全市) 1,512,033人 対前月比 -148人

最新の世帯数(全市) 743,361世帯 対前月比 +275世帯

神戸データラウンジ トップページ

ダッシュボード一覧

フリーワード検索

カテゴリで探す

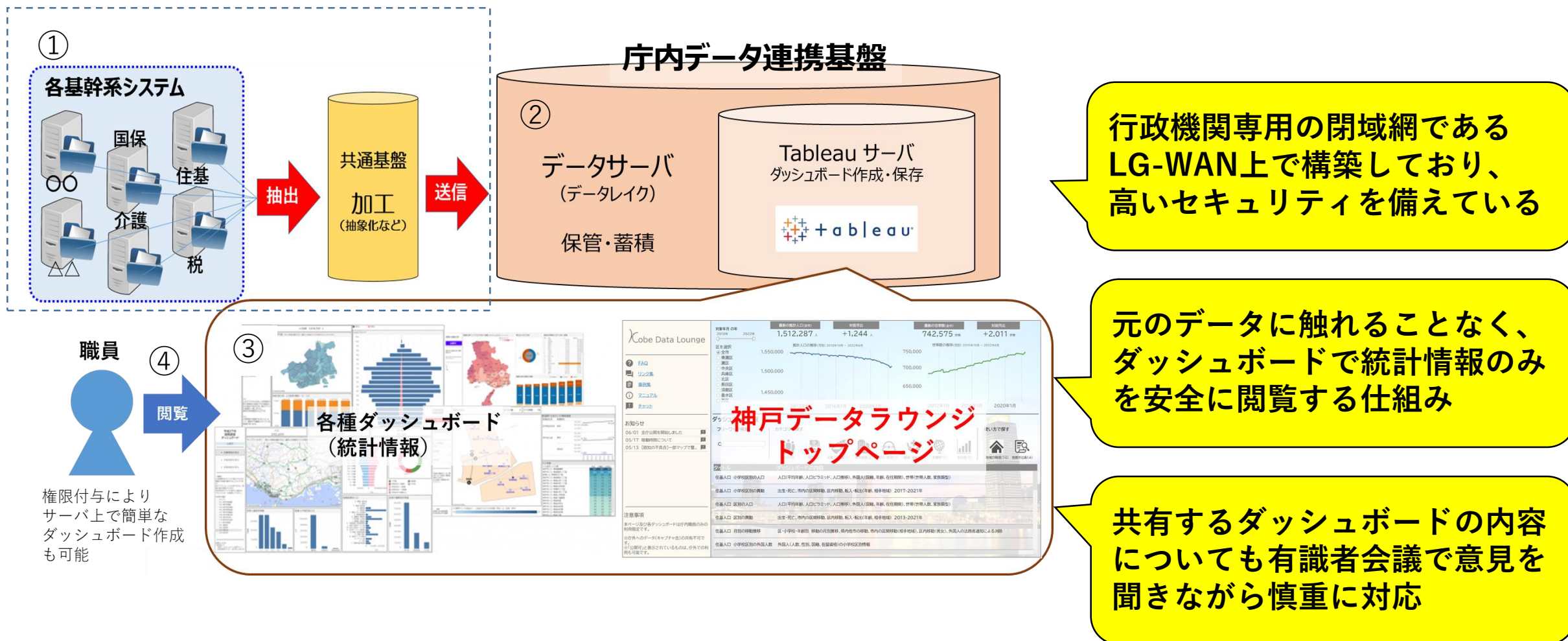
- 人口(7)
- 経済(3)
- 子育て・教育(1)
- 都市政策(2)
- 安心・安全(1)
- 防災・防災(2)

お役立ち

神戸データラウンジ

各種ダッシュボード

神戸データラウンジの全体像 ~安全な運用~



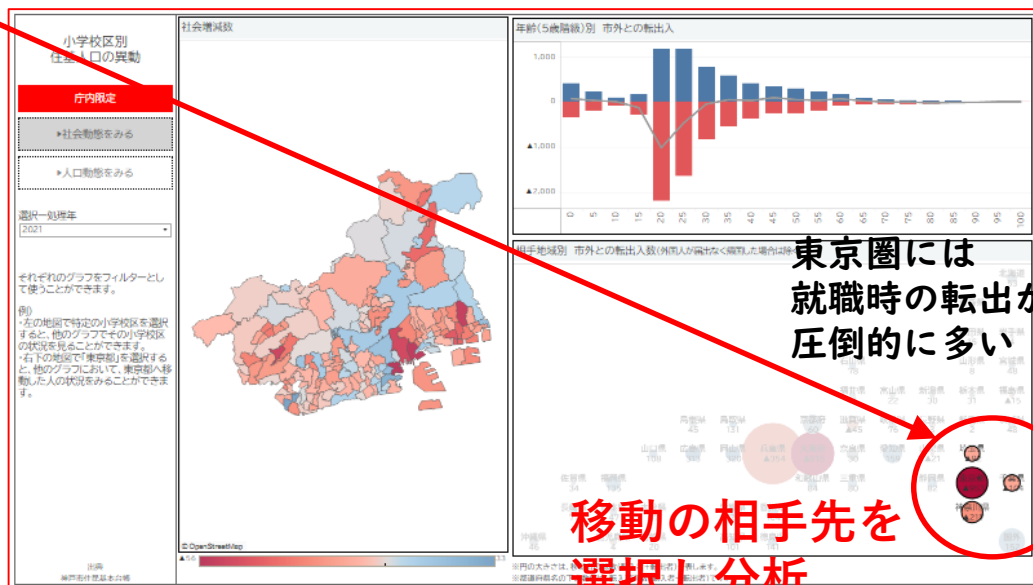
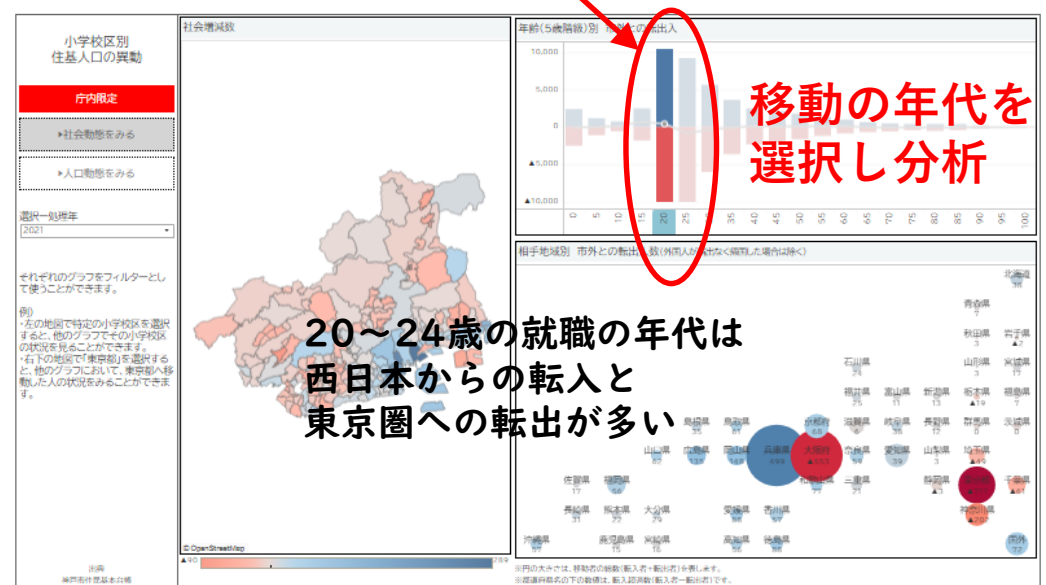
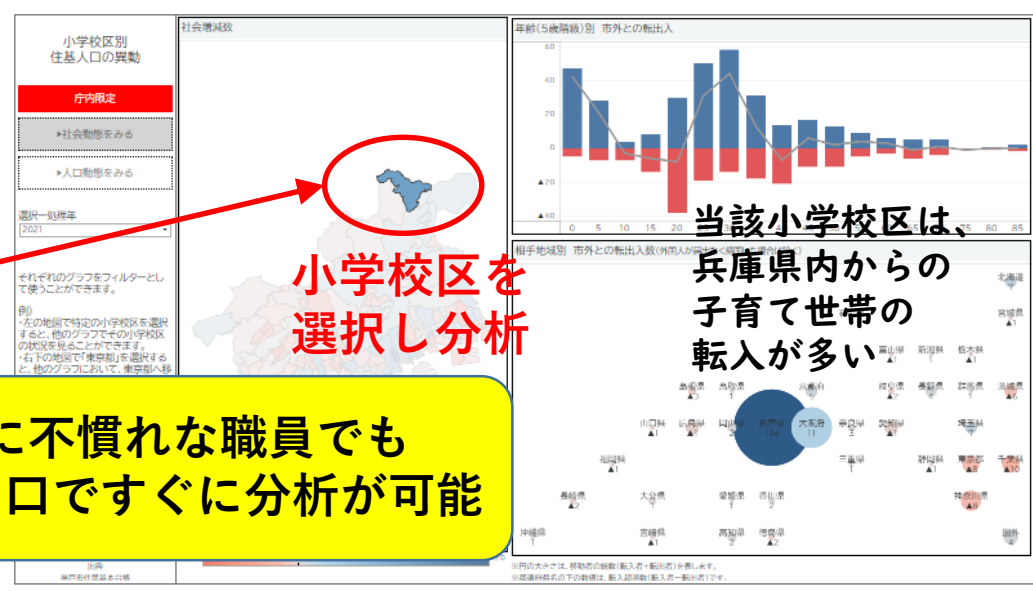
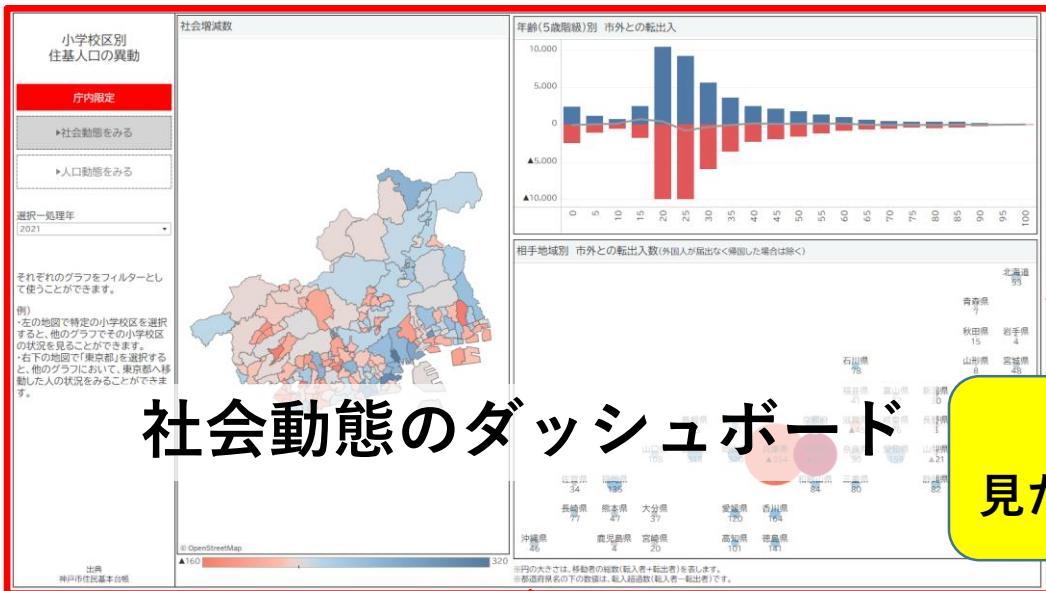
①各基幹系システムから行政データを抽出・抽象加工・蓄積

②抽象加工後のデータを統計加工し、可視化 (ダッシュボード等)

③可視化されたデータ (統計加工データ) を神戸市職員向けサイト「神戸データラウンジ」にて共有

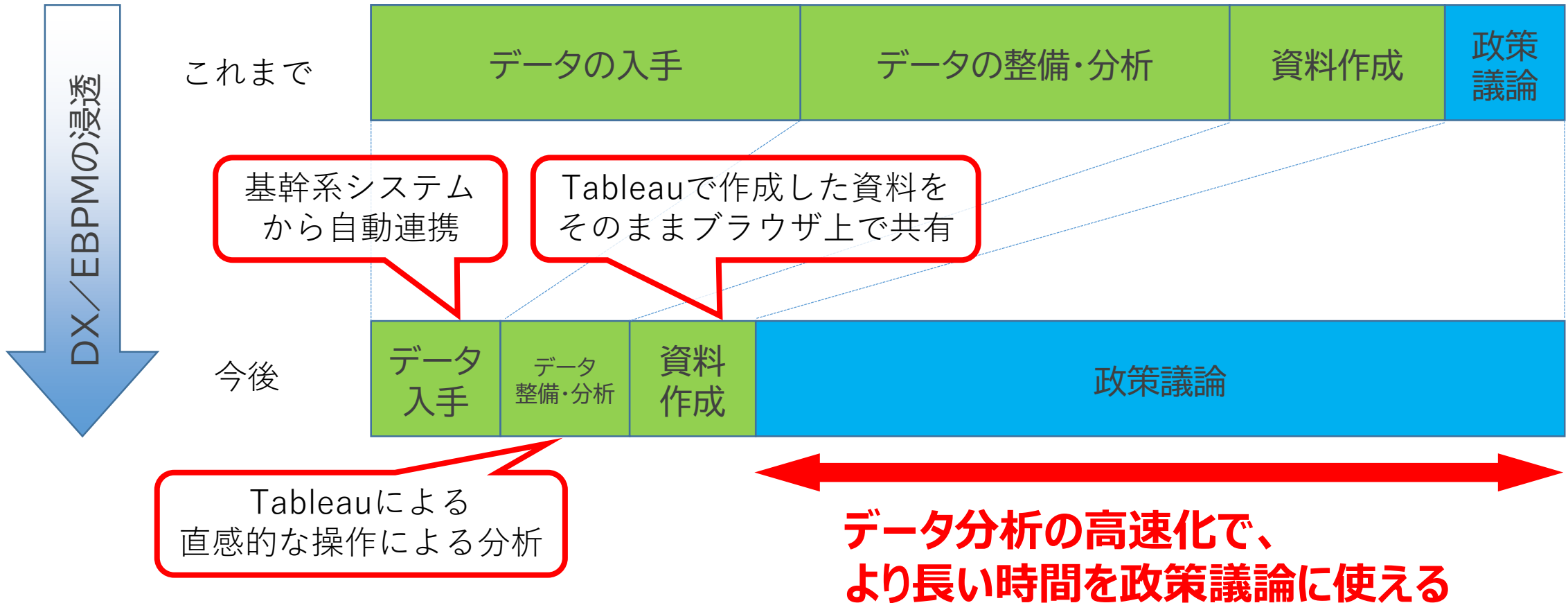
④各職員が可視化されたデータを分析し、政策立案に活用

ダッシュボードを使った分析事例



神戸データラウンジが実現するデータ分析の高速化

- Tableau Serverによる直感的な分析と共有
- 基幹系システムとの連携によるデータの整備



外部への情報発信の強化



阪神連絡大震災117のつどい

TOPICS
トピックス

- 新型コロナウイルス感染症
- 新型コロナワクチン
- 手続き
- 家庭ごみの出し方
- 図書館
- 市バス
- 地下鉄
- イベント
- 神戸データラボ**
- 一覧を見る →

神戸市のトップページに新設サイトへのリンク(アイコン)を追加し、データへのアクセスを改善

神戸データラボ

※令和5年2月24日より、サイト名称を「神戸データラボ」に改め、国勢調査の結果を用いた全国版のダッシュボードも公開開始

全国のデータ

- 国勢調査概要 (市区町村)
- 国勢調査概要 (小地域)
- 通勤通学分析

神戸のデータ

- 統計を探す
- オープンデータを探す (外部リンク)
- マップを探す (外部リンク)

神戸市のすがた

神戸市の異動状況

データによるわかりやすい情報発信「神戸データラボ」

オープンデータ、マップ(GIS)、統計情報へのアクセスが容易に

神戸市トップページから

「神戸の統計」ホームページ

神戸の統計

- キーワードから探す
- よくある質問
- データこうべ月別各種統計表
- 神戸市統計書
- 大都市比較統計年表
- 人口統計
- 町丁別の統計
- 統計刊行物のご案内
- 神戸市学校保健統計
- 国、県、官公庁などの統計リンク
- 神戸市の統計リンク
- 分野から探す
- 調査名から探す
- 統計ダッシュボード

人口	1,515,907
出生数	738,039
65歳以上割合	28.6%
15～64歳割合	59.6%
15歳未満割合	11.8%
単独世帯割合	43.4%
持ち家割合	56.4%

自宅	6.2%
市内	65.9%
県内他市	12.9%
他県	11.0%
不明	3.9%

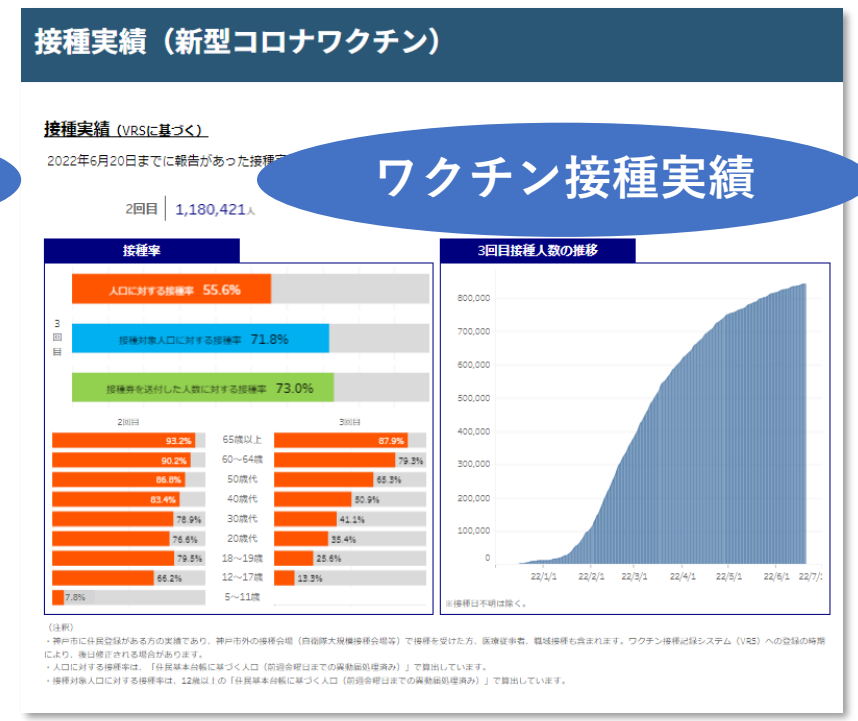
木造	63.1%
RC造	35.5%
その他	1.5%

神戸市情報マップ(外部サイト)

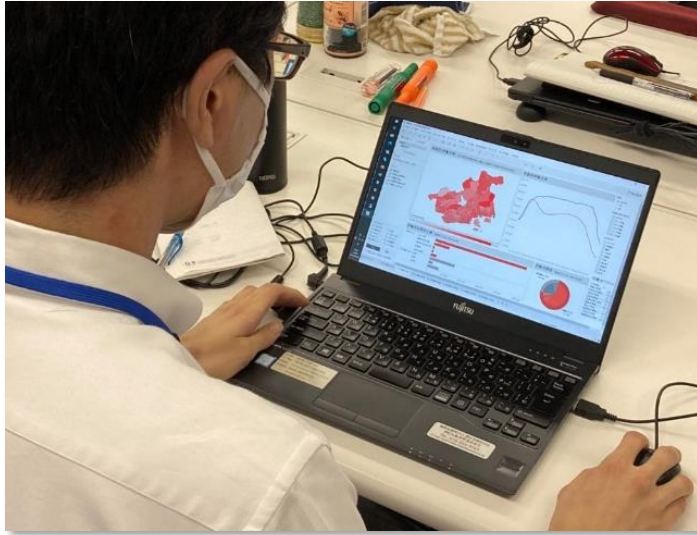
Open Data Kobe(外部サイト)

コロナ関連の情報発信もDIY

必要な情報を分かりやすく素早く更新



人材育成



政策課の若手職員は、業務の中でBIツールの操作を習得



企画調整局以外にも研修を実施



若手職員が中心となって、意見を出し合いコンテンツを充実

企画調整局以外にも
BIツールの導入が着実に
広がっている

データ分析をDIYすることで・・・

- ・ 欲しいダッシュボードを費用を掛けずに**素早く作成**し、実際に使いながら**柔軟に修正**することが可能になった。
- ・ 蓄積したデータを活用した**簡易分析**など、**各部署・各職員**でできることが増えた。
- ・ **安全に共有できる仕組み**により、個別案件の分析や業務改革も進めやすくなった。



EBPMの推進